ELEVATOR COMMUNICATIONS

# 札証IR個人投資家向け
# 会社説明会

2025年９月19日

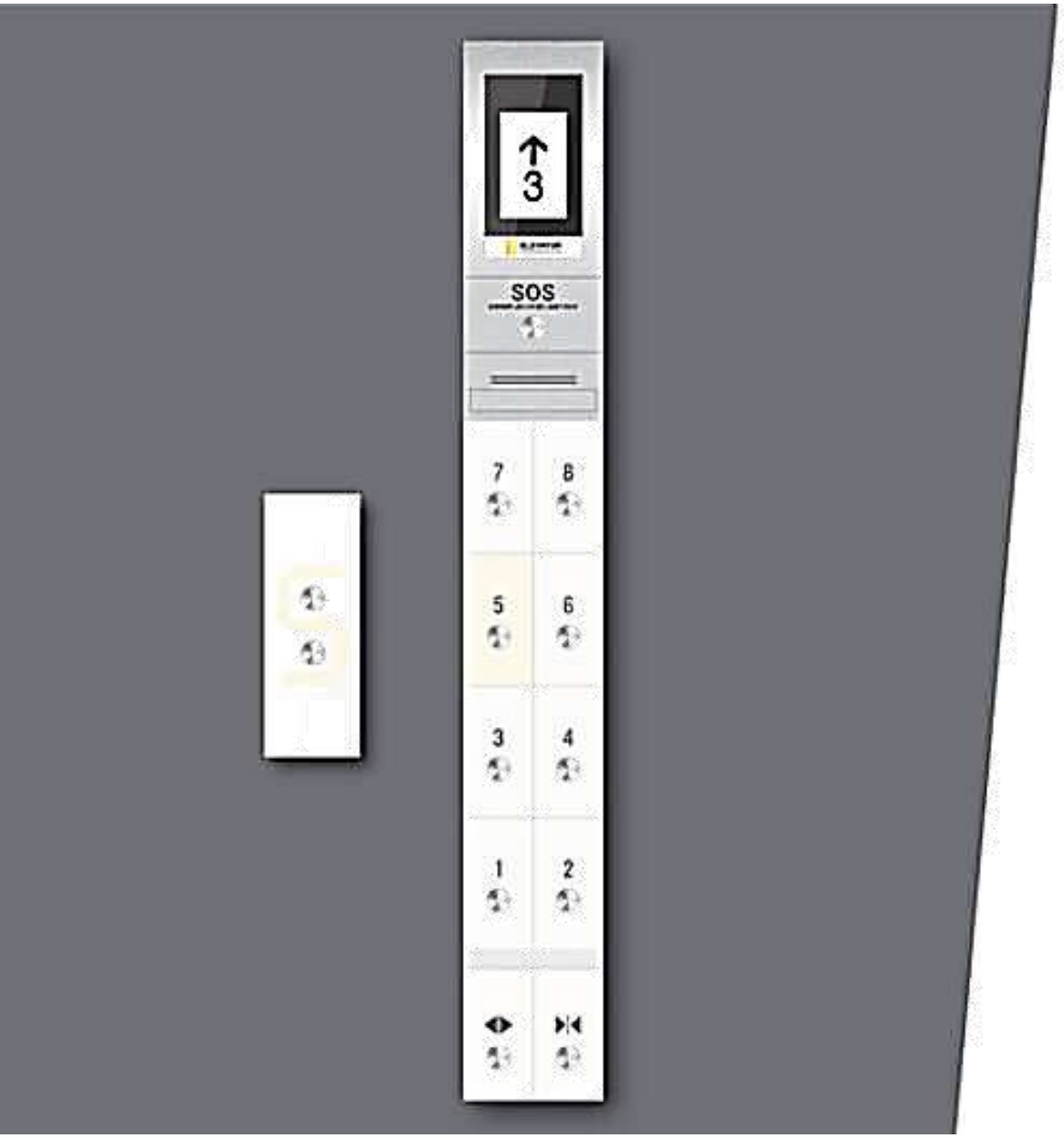
札幌証券取引所アンビシャス

エレベーターコミュニケーションズ株式会社

証券コード：353Ａ

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# INDEX





01.会社概要 3

02.事業概要 9

03.直近の業績 25

04.今後の予定 29

05.APPENDIX 35


©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

01

# 会社概要

# 会社概要（2025年８月31日現在）

| | |
|---|---|
| 社　　名 | エレベーターコミュニケーションズ株式会社 |
| 設　　立 | 2006年２月 |
| 代 表 者 | 代表取締役社長　薄田　章博 |
| 本　　社 | 東京都品川区南大井六丁目16番16号　鈴中ビル大森３階 |
| 資 本 金 | 118百万円 |
| 従 業 員 | 216名（パート･アルバイトは除く） |
| 事業内容 | ･エレベーター等の保守/点検<br>･エレベーター等の保全工事及び改修<br>･リニューアル工事 |

合計 48 拠点

※各拠点所在地は、Appendix添付資料をご参照

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

## 【 Mission 】

# すべてのお客様に
# スペシャリティメンテナンスをフェアプライスで

多様な機種やメーカーの昇降機メンテナンスに対応できる
独立系の保守会社として、**全国各地のニーズに応えたい**という想いから、
2006年に設立いたしました。

ご利用者様の安全の確保、そして安心できる環境の維持を最優先とし、
メーカーに劣らない高品質なサービスをリーズナブルかつ、迅速に提供しております。

# 沿革

| 年月 | 内容 |
|---|---|
| **2006年２月** | エレベーターの保守・管理業務の受託を目的として、東京都豊島区西池袋に当社を設立（資本金15,000千円） |
| **2006年６月** | 支店第一号である甲府支店を開設 |
| 2007年１月 | 当社本社を東京都港区芝に移転 |
| **2007年１月** | エレベーターのリニューアル業務の受託を開始 |
| 2012年10月 | アップルエレベーター株式会社（本社：青森県八戸市）から青森地区のエレベーター保守事業を譲り受け |
| 2014年４月 | 当社基幹システム上で遠隔監視・災害対応を管理する「イージスモード」機能の運用開始 |
| 2014年11月 | 当社本社を現在の東京都品川区南大井内で移転 |
| 2015年２月 | 有限会社平成エレベーター（本社：福岡県福岡市）から九州地区のエレベーター保守事業を譲り受け |
| 2018年12月 | 建物管理事業を営むワンライフ株式会社（東京都豊島区）を吸収合併 |
| 2019年５月 | 大阪地区でのエレベーター保守関連事業を目的として、エレベーターアクシス株式会社（本社：大阪府大阪市）を合弁設立 |
| **2021年７月** | 地震災害時WEB復旧要請システム「Ｑサポ」の提供開始 |
| **2025年4月** | 札幌証券取引所アンビシャスへ上場 |

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 北海道における現状と今後の方針

## ➤ 現状

| | |
|---|---|
| 2016年10月　函館支店　開設 | 2020年10月　虻田支店　開設 |
| 2018年　7月　札幌支店　開設 | 2022年10月　旭川支店　開設 |
| 2020年　2月　登別支店　開設 | 2024年12月　小樽支店　開設 |

## ➤ 今後の方針

■拠点設置の検討、契約台数増加に伴い、技術員、営業、事務員を増員予定。
■リニューアル事業に注力し、設置台数の多い観光業界に更に貢献することを目指す。
■リニューアルから新規保守の受注に繋げていけるよう体制強化予定。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

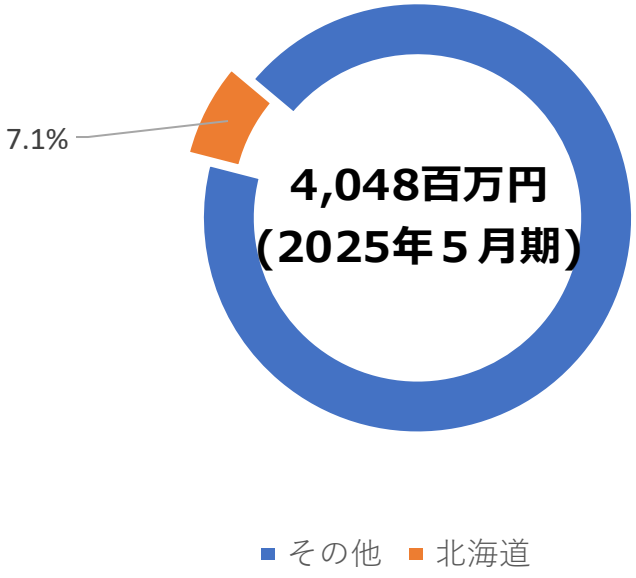
# 北海道エリアの実績と成長目標

- 北海道における現在の社内の保守台数の割合は7.1%。
- 今後は、保守台数の社内のシェア10%を目標に営業活動に力を入れていく。

（単位：千円）

| | 2024年5月期 | 2025年5月期 | |
|---|---|---|---|
| | 実績 | 実績 | 構成比 |
| 北海道 | 230,387 | 283,393 | 7.1% |
| その他 | 3,060,856 | 3,765,083 | 92.9% |
| 売上高合計 | 3,291,243 | 4,048,476 | 100% |

北海道の売上高割合




©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

02

# 事業概要

# 事業概要

**当社は、「昇降機メンテナンス事業」の単一セグメントです。**
**サービス内容により、「保守業務」と「保全・リニューアル業務」に区分しています。**

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 保守業務の概要

## ➤ 保守業務

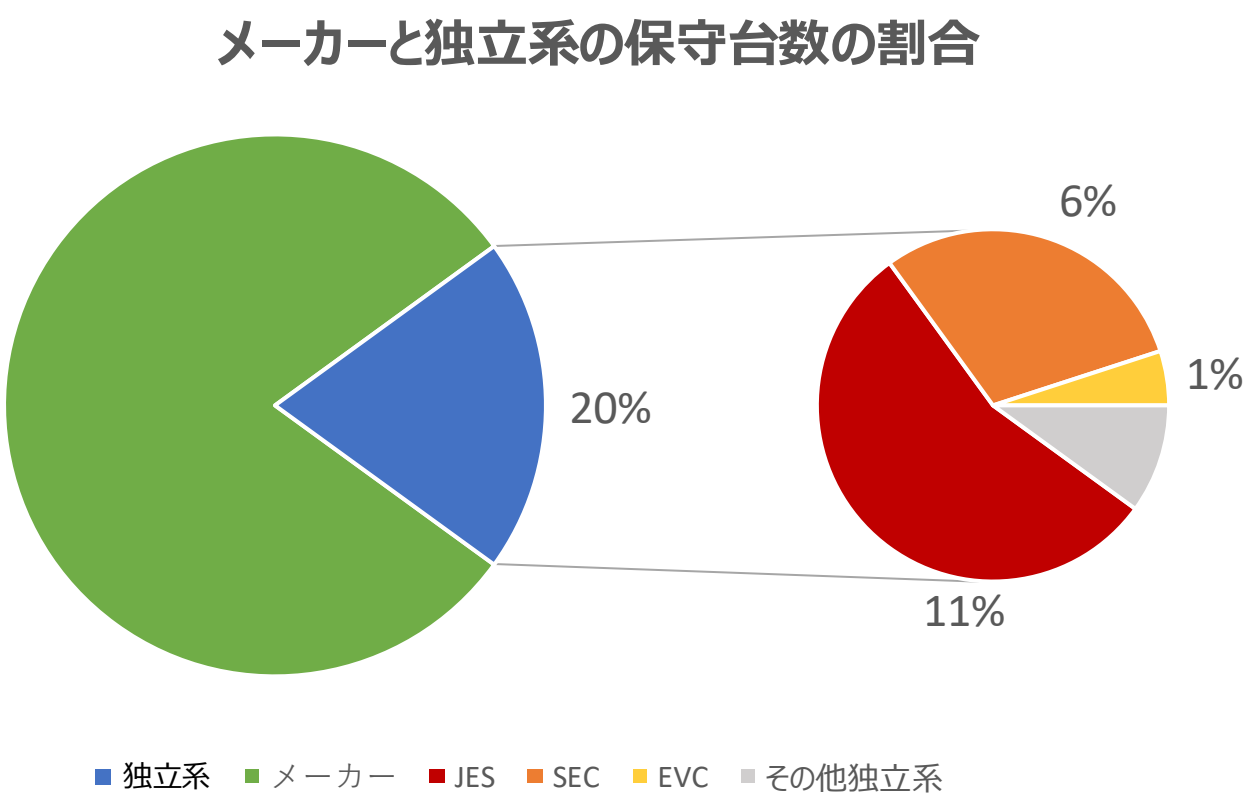
技術員を定期的に派遣し、エレベーターの定期的な点検を行う業務。
内容としては、機器の機能の調整、清掃や給油を行います。

※当該保守には、災害、事故、故障、停電灯などの緊急時の対応も含んでおります。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 保守台数の割合

- 保守台数の割合としては、**メーカー系が80%、独立系が20%の割合**となっており、徐々に独立系の割合が増加傾向。
- 当社は日本全国の内 **約１％** のエレベーターを保守しております。




| 色 | 分類 | 保守台数 |
|---|---|---|
| | 日本全国 | 約90万台 |
| | メーカー系 | 約72万台 |
| | JES（業界１位） | 約10万台 |
| | SEC（業界２位） | 約５万台 |
| | EVC（当社） | 約１万台 |

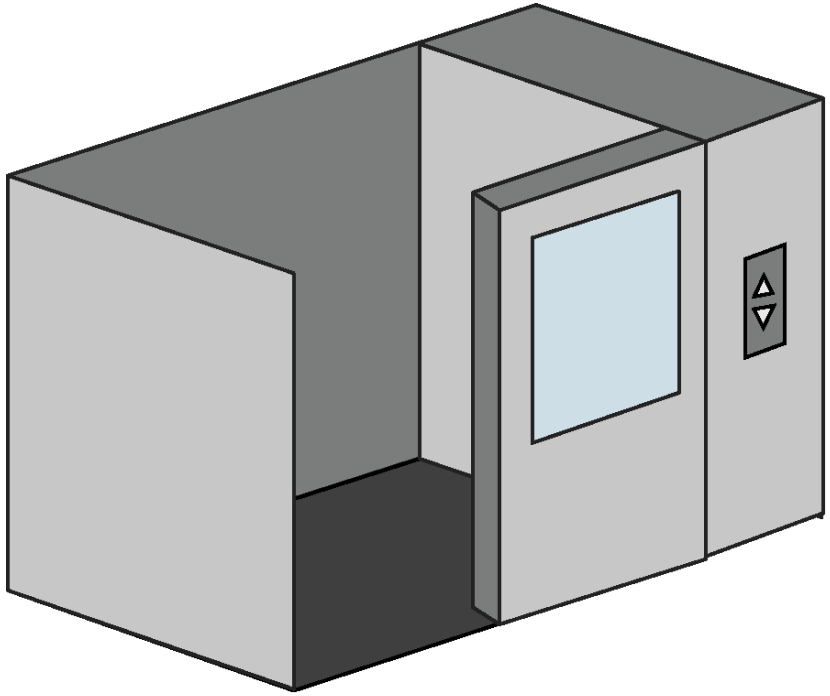
※参照データ

・一般社団法人 日本エレベーター協会
「ELEVATOR JOURNAL No.55」より

・各社データは各ホームページ等より

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# エレベーター設置から保守切り替えのイメージ①



メーカー製エレベーター

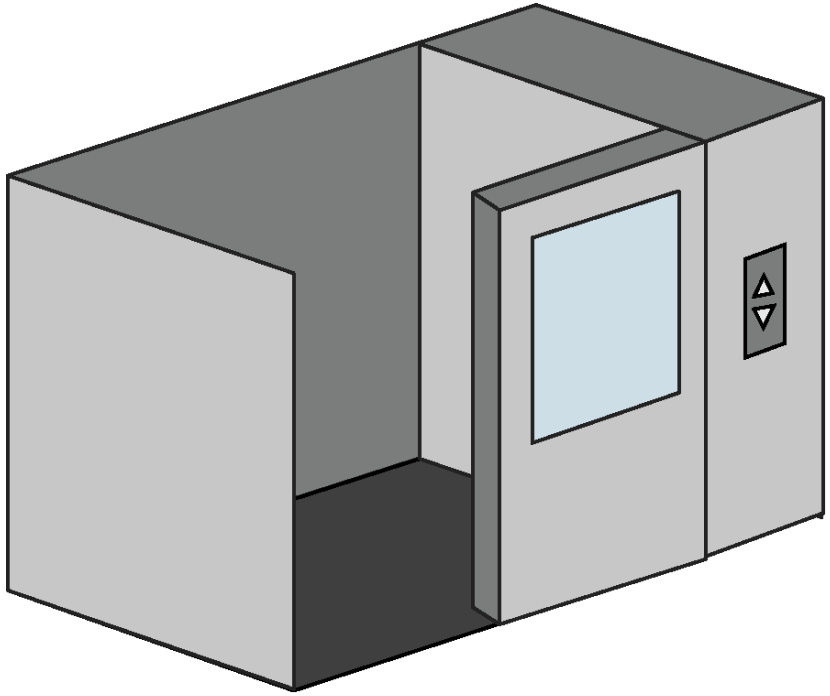
エレベーターの設置
その後、保守・保全

メーカー系

**設置後、数年はメーカー系が**
**アフターサポートとして**
**保守・保全をするのが一般的**

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# エレベーター設置から保守切り替えのイメージ②



メーカー製エレベーター

**～数年後～**

アフターサポート後は、メーカー継続、独立系へ切り替えなど
ビルオーナー様等の意思で保守会社を切り替える事が可能。

**独立系（当社）**

保守・保全

**メーカー系**

保守
切り替え

**金額やサポート体制について**
**納得いただけ場合は、保守切り替え！**

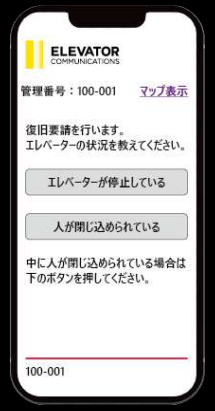
©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

## 当社の強み/メーカー・他独立系との差別化

# ➤ Web復旧要請システム 「Qサポ」

当社が保守を担当するエレベーターには、「Qサポ」アクセス用のQRコードが貼付されています。
突発的な災害時には、ご利用者様がご自身で当該QRコードをスマホ等で読み取っていただき、
直接、復旧要請の連絡が可能となります。
また、「Qサポ」を利用することにより、マップ上で復旧対応に駆けつける技術員の位置情報を
リアルタイムで確認できるほか、おおよその到着時間を把握することができます。

**災害発生時、扉付近又はエレベーター内にあるステッカーからQRコードの読み込む**




**状況を選択の上
復旧を要請**

**技術員の現在地や
到着までの所要時間を
リアルタイムで確認**

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

## 当社の強み/メーカー・他独立系との差別化

# ➤ 災害時発動機能 「イージスモード」

当社基幹システム「Assist」上で、遠隔監視と災害対応の管理を実現する機能。
大規模な災害が発生した場合でも、「イージスモード」に切り替える事で、被災した物件情報を即座に共有でき、当社専門スタッフと現地技術員は、「災害一覧」と「災害マップ」を参照しながら、リアルタイムで迅速な対応が可能。

### ＜災害一覧＞

**被災した物件の情報を、リアルタイムで社内共有する事が可能となります。**

**復旧及びその対応状況等が、ひと目で確認でき、スムーズな復旧作業を実現しております。**

### ＜災害マップ＞

**現地技術員は登録されている災害マップを随時参照・確認しながら、自身のいる場所から最も近い現場に直行することで、迅速かつ効率的に復旧作業を行えます。**

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved. 

# 保全・リニューアル業務の概要

## ➤ 保全業務

点検結果による指摘のもと行う、
部品の取替え及び修理業務であります。

当社は、保守対象の昇降機の故障に関する統計データを蓄積しており、品質管理部門及び故障低減プロジェクトにおいて、故障分析を行っております。
分析の結果、故障の発生頻度が高い部品については、一斉に交換を提案するなど、故障や長期停止の未然防止に貢献しております。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

## 保全･リニューアル業務の概要

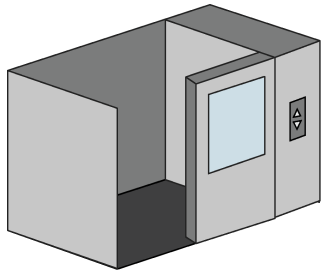
# ➤ リニューアル業務

当社では、安全性、快適性、機能性を向上されるため、老朽化した昇降機のリニューアル工事を計画的に実施しております。

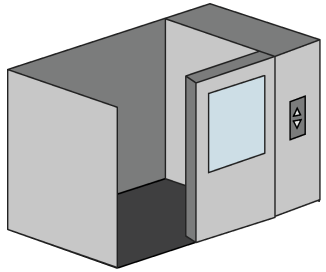
エレベーター設置から20年以上が経過すると、メーカーからの部品供給停止の通知が出され、部品交換や修理が困難になる場合があります。
そのため弊社では通知が出されたエレベーターに対して安全と利便性の確保を目的とし、お客様へのご提案を強化しております。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# リニューアルのイメージ



メーカー製エレベーター



○○ 製エレベーター

**独立系**
**（当社）**

各社それぞれがルートを開拓し、そこで仕入れた部材を使用してリニューアルを行います。

エレコミは、下記でリニューアルを対応しております。

エレベーター　：JAPAN SAMIL製
　　フジテック製
　　エレベーターシステム製

エスカレーター：HANSON LIFT製

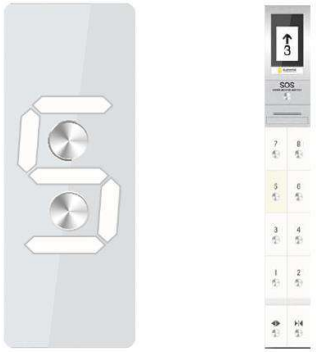
©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# リニューアル工事例

## ➤ エレベーターリニューアル

当社では、エレベーターシステム製、ジャパンサミル製、又はアライアンス契約をしているフジテック製のリニューアルキットを使用してリニューアルを行っております。
また、操作盤は、独自の操作盤も開発しており、ビルの資産価値を高められる様な選択肢をご用意しております。

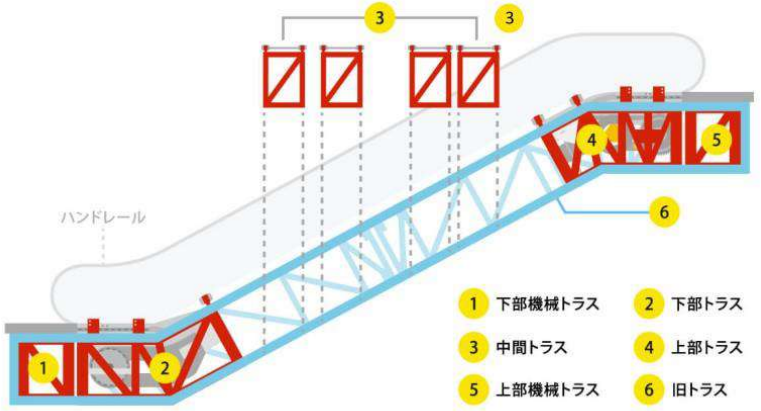
### 特許取得済みの新操作盤



## ➤ エスカレーターリニューアル

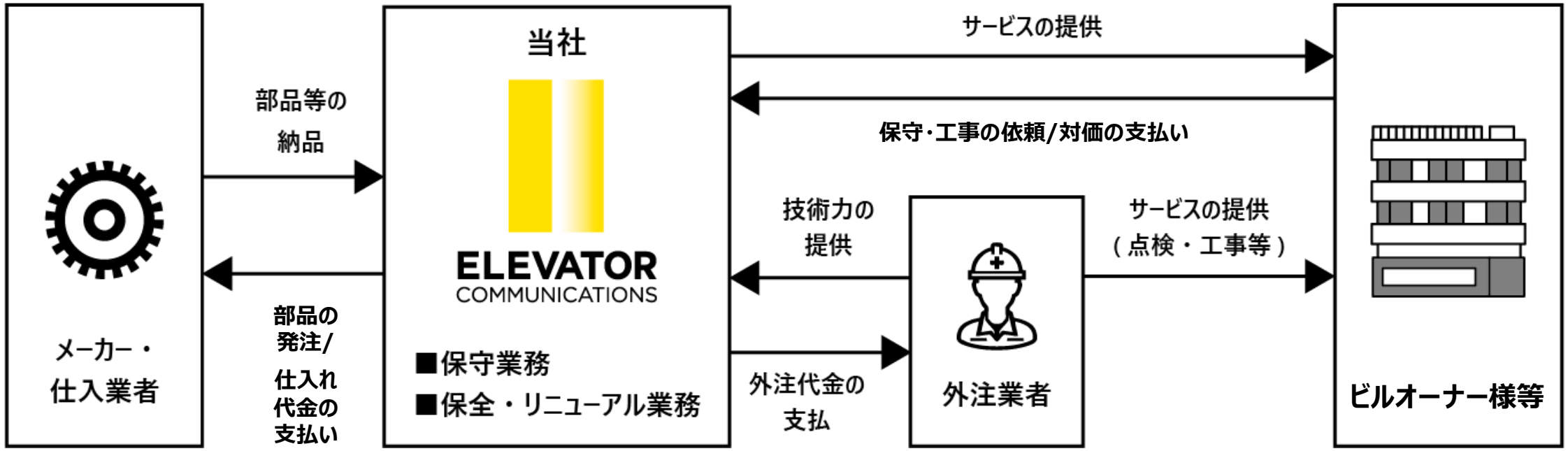
独立系で初めてエスカレーターのリニューアルが可能になりました。（2023年当時）
また独自のリニューアル工法を採用しており、通常の撤去新設と比べ、工数を1/3の３週間、コストを50%削減した実績があります。

### エスカレーターの構造図




©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# ビジネスの流れ

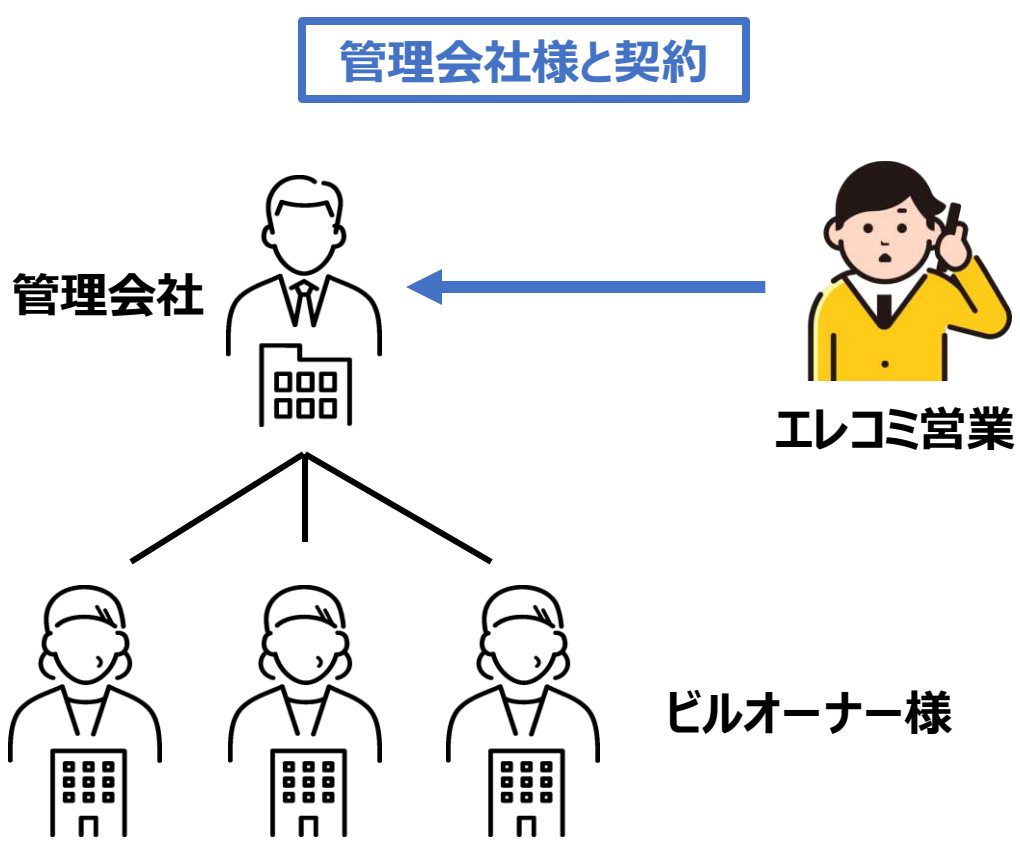



※１．案件紹介者や代理店に対し、紹介料を支払う場合があります。
※２．メーカーや他の独立系メンテナンス会社から、保守業務を受託するケースもあります。
※３．建築基準法においては、昇降機等検査員による年１回の法定検査を実施し、その検査結果を
ビルオーナー様等である昇降機所有者又は昇降機管理者に報告することが義務づけられております。
※４.都内、一部地域に関しては、外注業者を使用しております。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 契約形態

契約形態については、管理会社様と契約するパターンと各ビルのオーナー様と契約するパターンがあります。
当社では解約リスクを抑えるために、ビルオーナー様との直接的な関係構築を大切にしているため、
成長スピードこそ緩やかですが解約率は低く抑えられています。



©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# ① 人財の確保・育成

■リスク

高度な専門スキルを持つ技術者、手厚い顧客サポートを行える営業人員等を採用する際の先行コストが　過大になったり、優秀な人材が採用できない、育成が遅れた場合には、当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローに状況に重大な影響を及ぼす可能性があります。

■対策

・定期的な採用mtgによる、採用コストの見直し・管理
・広告媒体を使用した積極的な採用活動
・育成体制の整備

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved. 

ELEVATOR COMMUNICATIONS

# ② エレベーター等による事故

■リスク

作業の性質上、作業員の怪我等の労働災害リスクが存在しております。

しかし想定外の重大な事故や労働災害が発生した場合は、労働災害保険金で補填できない分の支払い、社会的信用の失墜等を招き、当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローに状況に重大な影響を及ぼす可能性があります。

■対策

当社は、エレベーター・エスカレーターをご利用いただくすべての皆さまの安全を経営の最優先事項とし、瑕疵による利用者の「人身事故ゼロ」を不変の目標として掲げています。・独自の安全作業に関するマニュアルの整備

・作業員や外部協力業者を対象とした安全教育の徹底

・産業医の設置

・安全衛生委員会の開催

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved. 

03

# 直近の業績

# 2025年５月期（20期）　決算ハイライト（2025年7月14日開示内容）

## 創業以来売上高は20期連続で増収！

主な理由としては、下記２点

①保守業務の売上高は **4.4%増加**。順調に推移！

価格競争力と信頼性を兼ね備えた保守サービスの提供や包括契約型点検プランを推進。

②リニューアル改修需要の拡大により保全・リニューアル業務の売上高は **42.9%増加**。

部品供給停止物件に対する提案強化や施工管理体制の強化を実施しました。

**売上高**

過去最高

**4,048百万円**

前期比　+23.0%

創業以来、売上高は、20期連続で増収。売上高の大幅な伸張により、各段階利益は **前期比88%以上** の成長！

**営業利益**

**264百万円**

過去最高

前期比　+88.8%

**経常利益**

**262百万円**

過去最高

前期比　+91.1%

**当期純利益**

**147百万円**

過去最高

前期比　+98.3%

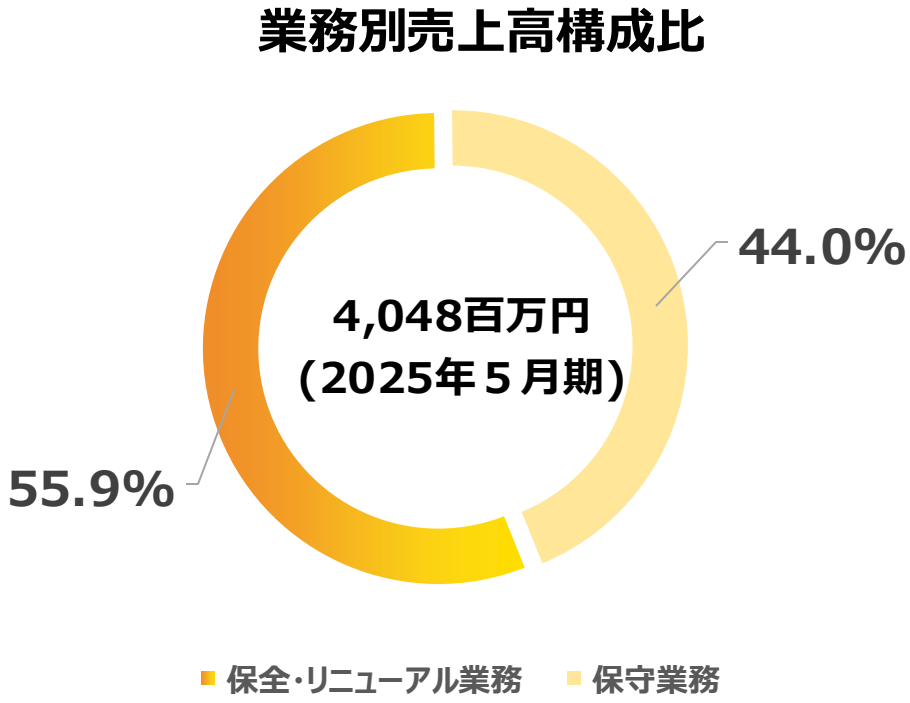
©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 業務別の売上推移

- 保守業務、保全・リニューアル業務ともに順調に売上が増加傾向！
- 特に保全・リニューアル事業は、部品供給停止設備物件に対する提案強化、施工管理体制の見直しに加え、改修需要の高まりも追い風となり、大幅に伸長！

（単位：千円）

| | 2024年5月期 | 2025年5月期 | | |
|---|---|---|---|---|
| | 実績 | 実績 | 構成比 | 前年度比 |
| 保守業務 | 1,706,890 | 1,783,532 | 44.0% | 4.4% |
| 保全・リニューアル業務 | 1,583,910 | 2,264,585 | 55.9% | 42.9% |
| その他 | 443 | 358 | 0.0% | △19.0% |
| 売上高合計 | 3,291,243 | 4,048,476 | 100% | 23.0% |




©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 貸借対照表の状況

(単位：千円)

| | 2024年５月期 | | 2025年５月期 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 実績 | 構成比 | 実績 | 構成比 | 前期差 |
| **流動資産** | **1,068,546** | **81.1%** | **1,448,089** | **86.2%** | 379,543 |
| 現預金 | 522,473 | 48.9% | 563,834 | 38.9% | 41,361 |
| **固定資産** | **248,486** | **18.9%** | **232,007** | **13.8%** | △16,479 |
| **総資産** | **1,317,032** | **100.0%** | **1,680,097** | **100.0%** | 363,065 |
| **負債** | **1,213,699** | **92.2%** | **1,326,837** | **79.0%** | 113,138 |
| 有利子負債 | 591,644 | 48.7% | 549,415 | 41.4% | △42,229 |
| **純資産** | **103,332** | **7.8%** | **353,259** | **21.0%** | 249,927 |
| 資本金 | 67,090 | 64.9% | 118,311 | 33.5% | 51,221 |
| 資本準備金 | 45,081 | 43.6% | 96,302 | 27.3% | 51,221 |
| 繰越利益剰余金 | △10,251 | △9.9% | 137,234 | 38.8% | 126,983 |
| **負債及び純資産合計** | **1,317,032** | **100.0%** | **1,680,097** | **100.0%** | 363,065 |
| **自己資本比率** | **7.8%** | - | 21.0% | - | 14% |

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

04

# 今後の予定

# 2026年５月期（21期）　業績予想サマリー

| 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---|---|---|---|
| 4,664百万円 | 298百万円 | 291百万円 | 163百万円 |
| 前期比 ＋15.2% | 前期比 ＋12.8% | 前期比 ＋11.0%予定 | 前期比 ＋10.8%予定 |

## 将来を見据えた積極的な投資を実行

前年同期比で増収を見込んでいるものの、将来的な事業拡大を見据えメンテナンス技術員を中心とした人財投資を積極的に計画しております。これらの人件費の計上により、各段階利益は前年同期比でやや低下すると保守的に見込んでおります。

**人財採用や教育投資**　将来的な事業拡大を見据えメンテナンス技術員、営業、バックヤード人財の採用

**システム投資**　業務プロセスの最適化にむけたシステム投資を引き続き実施

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 2026年５月期（21期）　業績予想について

- 将来的な事業拡大を見据え、メンテナンス技術員を中心とした人財投資（採用・育成）を積極的に計画
- 人財採用や教育投資、業務プロセスの最適化に向けたシステム投資、販促活動の強化等により、販管費が増加

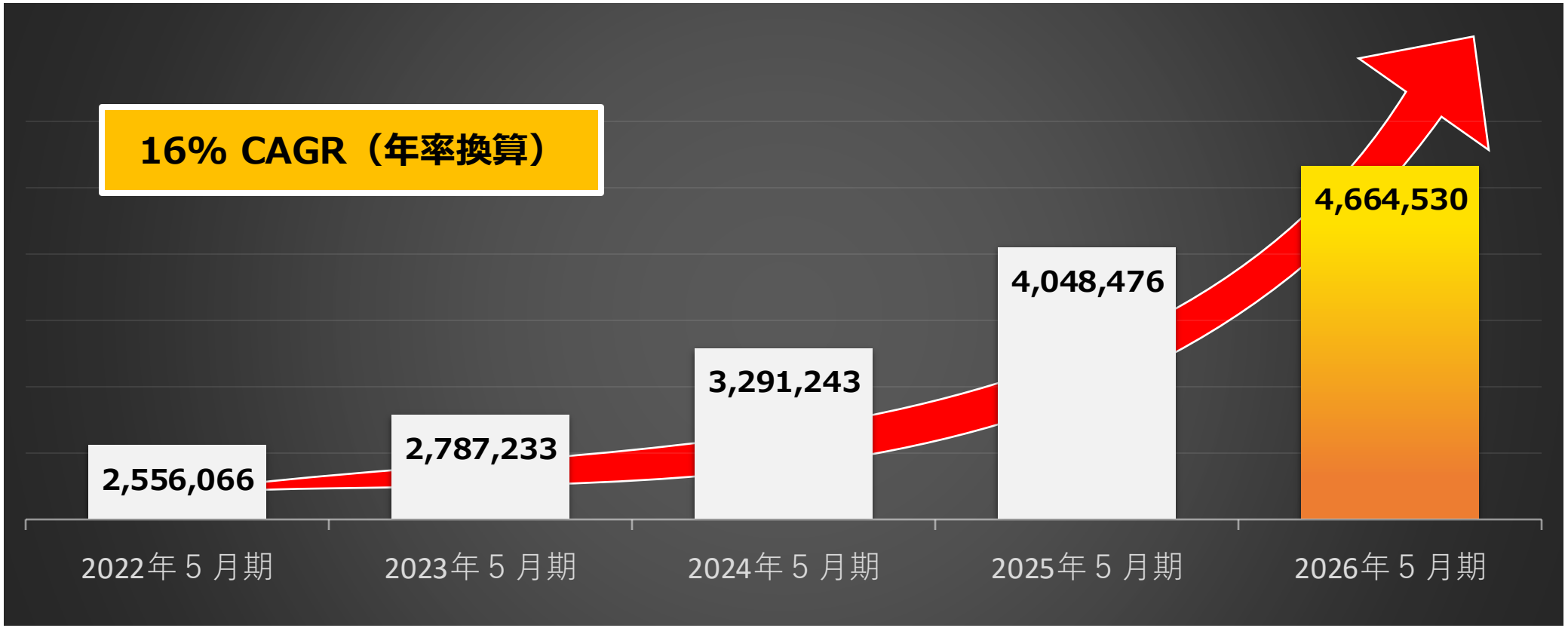
（単位：千円）

| | 2025年５月期 | 2026年５月期 | | |
|---|---|---|---|---|
| | 実績 | 予想 | 増減額 | 前期比 |
| 売上高 | 4,048,476 | 4,664,530 | 616,053 | 15.2 % |
| 売上原価 | 2,787,393 | 3,237,373 | 449,980 | 16.1 % |
| 売上総利益 | 1,261,083 | 1,427,156 | 166,073 | 13.1 % |
| 販管費 | 996,380 | 1,128,534 | 132,154 | 13.2 % |
| 営業利益 | 264,702 | 298,622 | 33,919 | 12.8 % |
| 経常利益 | 262,815 | 291,458 | 28,642 | 10.8 % |
| 当期純利益 | 147,485 | 163,886 | 16,401 | 11.1 % |
| 一株当たりの当期純利益 | 145.24 円 | 161.39 円 | 16.15円 | 11.1 % |

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 売上成長（５期分）

● 災害意識の高まりや部品供給停止による更なるリニューアル工事の需要拡大により、現在のCAGR 14%から16%への向上を予想




©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

今後の取り組み①

# 当社の成長戦略は、以下の3つの柱を基盤に展開していきます。

## ① リニューアル工事への対応強化

需要の高いリニューアル工事の受注を強化するため、人材投資と工程管理の徹底を行います。安全・安心を担保した施工期間内での対応を重視し、受注台数の拡大を目指します。また、エスカレーターリニューアルをエレベーターに続く事業の柱として強化し、成長を加速させます。

## ② 戦略的業務提携による顧客層の拡大

地域の企業との戦略的提携を強化し、シナジー効果を最大化します。各地域におけるパートナーシップを活用し、新規案件の紹介を通じて、保守契約台数の拡大と保全・リニューアル工事の獲得を目指します。

## ③ 業務システムのＤＸ化

基幹システム「Assist」を活用した地震災害時のWEB復旧要請システム「Qサポ」や、遠隔監視システム「イージスモード」の更なる進化を図ります。管理機能の強化を通じて顧客とのリレーションシップを深化させ、安心・安全なサポート体制の強化を目指します。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

## 今後の取り組み②

# 当社は、現在の事業領域において確かな実績を持ち、今後の事業をさらに加速させるために、以下の戦略的方針を掲げております。

### ① 北海道・西日本地域での事業強化

今後、特に北海道地区での保守台数の拡大、そして大阪を中心とする関西地区や四国地区など、未出店地域の調査およびマーケティング強化を行い、新規店舗展開を進めます。近隣支店との相互協力によって、地域ごとの「点から面」でのサービス提供を目指し、顧客の安全・安心をサポートします。

この施策により、保守契約台数の拡大を図り、事業の成長基盤を築きます。

### ② 既存市場の深耕

既存市場においては、特にエレベーターなどの昇降機の保守点検において、稼働を脅かす事象を未然に防ぐため、きめ細やかな指摘提案を強化します。この取り組みにより、故障率や長期停止率のさらなる低下を実現し、顧客満足度の向上を目指します。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

05

# APPENDIX

# 投資家様からのよくある質問

**Q なぜ札証に上場したのか？**

**A 設立時の「地方展開に力をいれていく」という想いや、代表が北海道出身という事もあり札幌証券取引所にて上場を目指しました。**

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 投資家様からのよくある質問

ELEVATOR COMMUNICATIONS

## Q 株主還元についての考えを聞かせて下さい

## A 現段階では成長投資を優先すべきフェーズと認識しており、内部留保を活用しながら事業基盤の拡充に注力してまいります。株主還元については、今後の業績推移やキャッシュフローの状況を踏まえ、適切なタイミングでの実施を検討してまいります。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 投資家様からのよくある質問

Q 保守の伸びが悪い様に見えますが、何か対策はありますか？

A 前述したとおり、各ビルのオーナー様との直接的な関係構築を大切にしている為、成長スピードこそゆるやかですが、着々と増加傾向です。
また今後営業人員の増加、電子契約の導入による契約業務のスピードアップ等、様々な施策を検討しております。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 拠点所在地（本社、48支店及び出張所）

※2025年8月31日現在の所在地を記載しております。

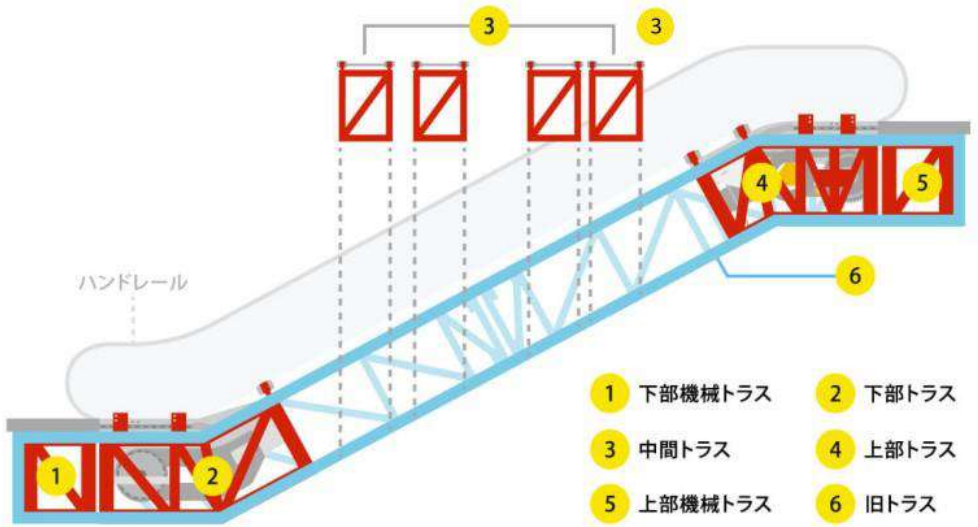
| 設置年月 | 拠点 |
|---|---|
| 2006年２月 | 本社（東京都品川区） |
| 2006年６月 | 甲府支店（山梨県甲府市丸の内） |
| 2008年８月 | 相模原支店（神奈川県相模原市） |
| 2008年10月 | 青森支店（青森県青森市） |
| 2009年７月 | 横浜支店（神奈川県横浜市） |
| 2009年７月 | 宇都宮支店（栃木県宇都宮市） |
| 2010年６月 | 長野支店（長野県長野市） |
| 2010年10月 | 盛岡支店（岩手県盛岡市） |
| 2011年４月 | 秋田支店（秋田県秋田市） |
| 2011年４月 | 松本支店（長野県松本市） |
| 2011年６月 | 仙台支店（宮城県仙台市） |
| 2012年４月 | 東京西支店（東京都小平市） |
| 2012年４月 | 高崎支店（群馬県高崎市） |
| 2012年10月 | 八戸支店（青森県八戸市） |
| 2012年11月 | 郡山支店（福島県郡山市） |
| 2013年１月 | 山形支店（山形県山形市） |
| 2013年４月 | 茨城支店（茨城県つくば市） |
| 2013年４月 | 千葉支店（千葉県千葉市） |
| 2013年４月 | さいたま支店（埼玉県さいたま市） |
| 2013年11月 | 富山支店（富山県富山市） |
| 2014年４月 | 城北支店（東京都板橋区） |
| 2014年４月 | 城東支店（東京都墨田区） |
| 2014年９月 | 金沢支店（石川県金沢市） |
| 2014年10月 | 城南支店（東京都品川区） |

| 設置年月 | 拠点 |
|---|---|
| 2014年12月 | 北九州支店（福岡県北九州市） |
| 2015年２月 | 福岡支店（福岡県福岡市） |
| 2015年2月 | 岐阜支店（岐阜県岐阜市） |
| 2016年10月 | 函館支店（北海道函館市） |
| 2016年10月 | 福井支店（福井県福井市） |
| 2016年10月 | 佐賀支店（佐賀県佐賀市） |
| 2017年10月 | 鳥取支店（鳥取県鳥取市） |
| 2017年11月 | 松江支店（島根県松江市） |
| 2018年５月 | 名古屋支店（愛知県名古屋市） |
| 2018年７月 | 札幌支店（北海道札幌市） |
| 2019年４月 | 熊本支店（熊本県熊本市） |
| 2020年１月 | 長崎支店（長崎県長崎市） |
| 2020年２月 | 登別支店（北海道登別市） |
| 2020年10月 | 虻田支店（北海道虻田郡） |
| 2020年11月 | 鹿児島支店（鹿児島県鹿児島市） |
| 2021年11月 | 岡山支店（岡山県岡山市） |
| 2022年１月 | 沖縄支店（沖縄県沖縄市） |
| 2022年７月 | 日立出張所（茨城県日立市） |
| 2022年10月 | 旭川支店（北海道旭川市） |
| 2023年４月 | 広島支店（広島県広島市） |
| 2023年10月 | 高松支店（香川県高松市） |
| 2023年11月 | 大阪支店（大阪府大阪市） |
| 2024年９月 | 石垣支店（沖縄県石垣市） |
| 2024年12月 | 小樽支店（北海道小樽市） |
| 2025年８月 | 三重支店（三重県津市） |

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

## 直近のお知らせ

# ➤ エスカレーターのセミリニューアルが2025年２月より提供開始！！




【概要】

2024年から開始したエスカレーターリニューアルですが、

フルリニューアルと比較して **約40%削減** した

セミリニューアルプランを開始いたしました。

※図の ① ② ④ ⑤ のみをリニューアル

※③は既存を流用いたします。

【背景と狙い】

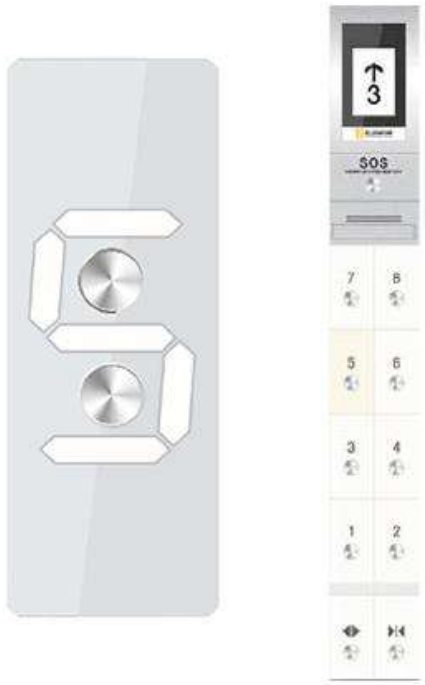
価格が課題となるお客様に対し、よりお求めやすい価格

で、安全を提供できる様にする為。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

## 直近のお知らせ

# ➤ 特許を取得した「独自の新操作盤」が2025年４月より施工開始！




【概要】

以前よりホームページ等で、告知しておりました新操作盤が、

2025年４月施工分より設置開始となりました。

●特許取得済み

●エレコミ独自の操作盤

【背景と狙い】

弊社独自の付加価値として、デザイン性の高い操作盤を設置する事で、

建物自体の資産価値を向上させる事を目的としております。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.

# 本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動等が含まれますが、これらに限られるものではありません。 また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

※注）2026年５月期業績予想につきましては、2025年5月31日現在の情報を基に作成しておりますので
実際の結果は将来の見通し及び業績予想と大きく異なる可能性がございます。

©Elevator Communications Co.,Ltd. All rights reserved.